



「拓本の記念カード」と「火おこし名人認定証」

10月26日（金曜日）更新 岡崎市立秦梨小学校で「出前博物館」を実施しました。

調査課の石井です。

以前、こちらのコーナーで県内の小学校を対象に県教育委員会実施している「出前博物館」について紹介しました。この「出前博物館」への協力として、今回は朝日遺跡 (<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/index.html>) から出土した土器や石器、貝塚から見つかった貝殻や鹿の角などを携えて、岡崎市の秦梨小学校を訪問しました。体育館に集合した5年生と6年生の児童は朝日遺跡 (<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/index.html>) や出土した品々の話を聞いてから、石器や土器を見学しました。実際にやじりを触って尖った感触を確かめたり、貝殻のにおいをかいだり、それぞれの方法で古代を感じていました。

この後、児童と一緒に先生方も参加され火おこし体験を行いました。力いっぱい火おこし具を動かし続けるのは5年生にはちょっと大変な作業でしたが、火が付くたびに歓声が上がっていました。

今回のように山に囲まれて貝塚とは縁が無い学校にも、貝塚について理解を深めてもらえるよう今後も県内各地の小学校へ出前ができれば [\(about:blank\)](#) と思います。



授業の様子

10月15日（月曜日）更新 10月4日（木曜日）に兵庫県の川西縄文の会の方々が当センターを見学されました。

調査研究課の伊奈です。

10月4日（木曜日）、兵庫県の**川西縄文の会**の方々が、当センターを見学されました。

この会の皆さんは、全国の**縄文遺跡**について学ばれており、今回は**愛知県の縄文時代**について知識を深めたいとのことで当センターを訪ねて来られました。センター職員が**縄文時代の愛知県の海岸線の変遷**や、**土器の特徴**などを解説した後、実際に県内の遺跡から出土した縄文土器や石器に触れてもらいました。

縄文時代について学ばれている皆さんとあって、専門的な質問が多く、私たち職員も勉強になりました。

なお、今回見ていただいた土器や石器は次の7遺跡から出土したものです。

惣作・鐘場（そうさく・かねば）遺跡、八王子遺跡、長谷口遺跡、吉野遺跡（以上、瀬戸市）

朝日遺跡 (<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/index.html>)（清須市・名古屋市）、**牛牧遺跡**（名古屋市）、**東光寺遺跡**（額田郡幸田町）

当センターに保管されている遺物の一部は、（公財）愛知県教育・スポーツ振興財団**愛知県埋蔵文化財センター** (<http://www.maibun.com/top/>) のHP内「**アーカイブ 遺跡アルバム** (<http://www.maibun.com/KihonDate/album2/newindex.html>)」でご覧いただけます。



川西縄文の会の皆さん

資料管理閲覧室および図書室の利用について

- ・ **資料管理閲覧室**は、平日（月～金）の午前9時から午後4時まで公開しています。（無料）
 - ※ 2階事務室にお越しください。
- ・ 団体での見学などで、職員による説明を希望される方は、あらかじめご連絡ください。（電話 0567-67-4164）
- ・ 研究のための資料調査をご希望の方も、事前にご連絡ください。
- ・ **図書室**の利用を希望される方も事前にご連絡ください。

なお、今回紹介しましたような施設の見学を希望される方は、ご相談ください。

10月15日（月曜日）更新 10月2日（火曜日）に瀬戸市立掛川小学校で「出前博物館」を実施しました。

調査研究課の本田です。

県教育委員会では、毎年、[朝日遺跡](http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/index.html) (<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/index.html>)（弥生時代）から出土した土器や石器を携えて学校を訪問する「出前博物館」を実施していますが、当センターも10月2日（火曜日）に瀬戸市立掛川小学校で行われた講座に協力しました。通常は、本物の土器や石器に「触れてみる」というプログラムですが、今回は、復元した石器を「使ってみる」ことにもチャレンジしてみました。

まず、実物の石器を観察してもらいました。石器は、使い方に応じた形や作り方をしていることを知り、「縄文人は頭がいいなあ。」といった感嘆の声も上がりました。自分の手に取ってみるのは、子どもたちだけでなく、先生も初めての方がほとんどで、貴重な体験になったようです。

次に、石器の切れ味を体験しました。黒曜石と下呂石と呼ばれる2種類の石材で、[\(about:blank\)](#)用意したキュウリやナスを切ってもらいました。想像以上の切れ味に、誰もが「すごい!」「怖いくらい!」という声を上げながら、皮をむいたりみじん切りにしました。このような追体験をすることで、縄文人の知恵や工夫を体感してもらえたようです。





最後に、**出前博物館**では定番となっている「火おこし」を子どもたちみんなが夢中になって取り組んでいます。中には10秒足らずで火をおこした子もいて、こちらが思っていたよりはるかに上手にできていました。取材に来ていた瀬戸市のケーブルテレビのスタッフも、「とても疲れますね。」と言いながら、火おこしに成功していました。



出前博物館は、10年以上にわたって続けられている人気事業ですが、今回のようなスタイルはこれが初めてでした。子どもたちの歓声や興味津々の目を見ると、うまくいったのかなと思います。今後も内容を様々に工夫しながら、**愛知県の遺跡や文化財**について理解を深めていただけるよう工夫していきたいと思います。

10月2日（火曜日）更新 9月30日（日曜日）に考古学セミナー「あいちの考古学2012」が開かれました。

調査研究課の伊奈です。

先日お知らせしましたように、9月30日（日曜日）に[愛知県陶磁資料館](#)

<http://www.pref.aichi.jp/touji/top.html>にて考古学セミナー「あいちの考古学2012」が開かれました。当日は大型の台風が接近しており、午後からは悪天候となったにもかかわらず、250名程の参加者がありました。当センターは、調査研究課の成瀬より平成22年度に調査を行った西牧野遺跡（岡崎市額田地区）についての調査成果を発表しました。また、講堂前に設けられた当センターのブースにも大勢の方が訪れました。展示した遺物や写真パネルについて質問をしたり、展示遺物を写真に収めたり、中には「施設を見学したいのですが・・・」と当センターに興味を持っていただけたようです。またこのような機会を利用して情報を発信していきたいと思えます。



当センターのブース



展示遺物



展示遺物について熱心に質問される来場者

9月5日（水曜日）更新 高校の新任の先生たちが発掘体験をしました。

調査研究課の本田です。

8月24日に高校地理歴史科の新任の先生による発掘体験を行いました。これは、初任者の研修の一環として行われたものです。

午前中は遺物の見学や、本年度調査している遺跡についての説明を受け、午後から**柿根田遺跡**で体験発掘を行いました。学生時代に考古学を専攻された先生も若干いましたが、ほとんどが初めての体験だということで、初めは恐る恐るの掘削でしたが、担当調査員から掘削のポイントのアドバイスを受けながら徐々に要領をつかんで作業を行いました。一日の最後はその日に出土した遺物と遺構を見学し、出土した遺物の意義や発掘調査から遺跡の全体像をどのように考えていくかについて説明をうけ、今回の研修は終了しました。

今回の体験を機に、それぞれの学校の近くの**埋蔵文化財**に目を向けてもらい、そうした文化財や当センターを授業実践に利用してもらえると幸いです。



遺跡と遺物の解説中です。



体験発掘の様子です。

9月5日（水曜日）更新 小学校の先生が発掘体験をしました。

調査研究課の本田です。

さる8月6・9・10日の3日間、三好中部小学校の先生が発掘体験を行いました。もともと古代の歴史に関心があり、研修の一環として是非参加してみたいという希望があったことによるものです。

初日の午前中は当センターが行っている事業や現在の調査の経緯、状況についての説明をし、今までに出土した遺物を観察してもらいました。昼前からはあいにくの雨でしたが、現場を見学し、それぞれの担当者から説明を受けました。

2日目は朝から柿根田遺跡で発掘体験でした。作業員さんに混じり溝などを掘削しました。学校とは全く違う仕事で、戸惑う点多かったと思いますが、[\(about:blank\)](#)、ベテランの作業員さんからアドバイスを受けながら精力的に作業していました。残念ながら遺物を掘り当てることはできませんでしたが、すぐ隣の作業員さんが遺物を見つけたので、いろいろと質問をしたり話を聞いて、発掘という作業の面白さをあらためて感じていたようです。同時に、発掘作業には多岐にわたる仕事があることを実感したとのことでした。

3日目はお盆休み前ということで、午前中は現場の保護作業でした。これもまた、発掘調査の仕事として想定していなかった作業だったようですが、これも仕事の一つとして参加してもらいました。午後は作業員さんの安全研修会にも出席し、これで作業員さんの仕事を一通り体験してもらったことになります。

普段の学校での業務とは全く違う体験をして、いろいろ戸惑うことも多かったと思いますが、発掘という仕事の現状を少しでもつかんで関心を持ってもらえると幸いです。また、今回の経験を授業に活用したり、調査センターを利用してもらおう一つのきっかけとなれば大変ありがたいと思います。



先生が担当者の説明を聞き、積極的に質問をしている様子です。